#### （（様式３０－５）　施設の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | | |
| １　処理方式を下記に記載すること。   |  | | --- | |  |   ※採用する処理方式（設備）が入札公告時点において、国土交通省国土技術政策総合研究所、地方共同法人日本下水道事業団又は公益財団法人日本下水道新技術機構のいずれかによる実証事業、共同研究、評価等がなされたもの、又は当該技術を発展、改善した技術であり、実証事業、共同研究、評価等がなされた技術と同等以上の信頼性が認められるもの、又は国内において１年以上の安定的な稼働実績（下水道法上の終末処理場（以下「下水処理場」という。）又は下水道類似施設）がある技術であることが確認出来る根拠資料を添付すること。  ２　施設規模、系列数等に関する以下の事項について記載すること。   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 系列 | 処理能力  （wet-t/日） | 稼動日数  （日/年） | 年間処理能力（wet-t/年） | 備考 | |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  | | 合計 |  |  |  |  | | | |
| ※A4版1ページ以内 | 応募者番号 |  |

#### （様式３０－６）　配置計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | | |
| １　配置計画について  以下に示す内容をA3版1枚に示すこと。構成は応募者による任意とする。  要求水準書の図1.8に示す「本事業の範囲内」に配置されていることが分かるよう示すこと。  ２　維持管理動線について  以下に示す維持管理動線をA3版1枚に示すこと。構成は応募者による任意とする。  ①維持管理動線（維持管理作業、保安及び緊急通路等）  ②車両動線（一般車両、燃料化物搬出車両、ユーティリティ搬入車両、受入汚泥搬入車両、修繕工事等における工事用車両等）  各動線の考え方と工夫した点、配慮すべき点について記載すること。なお、動線は、線種・線色を使い分けて分かりやすく図示すること。 | | |
| ※１はA3版1ページ、２はA3版1ページとする | 応募者番号 |  |

#### （様式３０－７）　工事計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | | |
| １　稼動中の既存施設への影響を考慮した工事計画  稼働中の既存施設に与える影響の軽減するための対応方法を工事段階、総合試運転段階それぞれについて記載すること。  ２　工程表  実施設計・建設工事期間における主要な行事、調査、許認可申請、事務手続き、実施設計、建設工事（機械設備、電気設備、土木、建築ごと）、試運転、完成検査等の工程表について、A3版1枚に示すこと。工程表の様式は任意とする。 | | |
| ※１はA4版2ページ以内とする  ２はA3版1ページとする | 応募者番号 |  |

#### （様式３０－８）　機械設備計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | | |
| 下記事項について、詳しく記載すること  １　脱水汚泥供給設備  採用する主要設備の方式、型式、設備容量、台数、材質の選定理由を根拠に基づき具体的に記載すること。  ２　肥料化設備（前処理、発酵施設等）  採用する主要設備の方式、型式、設備容量、台数、材質の選定理由を根拠に基づき具体的に記載すること。  ３　肥料化設備（製品化）（必要な場合）  採用する主要設備の方式、型式、設備容量、台数、材質の選定理由を根拠に基づき具体的に記載すること。  ４　肥料化製品受渡施設  採用する主要設備の方式、型式、設備容量、台数、材質の選定理由を根拠に基づき具体的に記載すること。  ５　脱臭設備  採用する主要設備の方式、型式、設備容量、台数、材質の選定理由を根拠に基づき具体的に記載すること。  また、規制値を遵守出来る根拠（採用する脱臭設備性能、臭気発生個所の密閉方法など）を記載すること。  ６　用水設備  採用する主要設備の方式、型式、設備容量、台数、材質の選定理由を根拠に基づき具体的に記載すること。  ７　ユーティリティ（用役）設備  採用する主要設備の方式、型式、設備容量、台数、材質の選定理由を根拠に基づき具体的に記載すること。  ８　配管・ダクト設備  採用する主要設備の方式、型式、設備容量、台数、材質の選定理由を根拠に基づき具体的に記載すること。 | | |
| ※A4版8ページ以内（図表を含む。） | 応募者番号 |  |

#### （様式３０－９）　電気設備計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | | |
| 下記事項について、詳しく記載すること  １　受変電設備  (1)受変電設備盤（変圧器容量・バンク数・配電盤構成等）構成、配電電圧、力率改善方法及び制御電源構成を記載すること。  ２　自家発電設備（必要な場合）  (1)必要性、対象負荷、自家発必要容量を根拠に基づき具体的に記載すること。  また、採用する主要設備の方式、型式、設備容量、台数、材質の選定理由を根拠に基づき具体的に記載すること。  ３　特殊電源設備  (1)対象負荷、機器構成（機器仕様等）及び補償時間を記載すること。  ４　運転操作設備  (1)負荷設備の運転・制御（単独・連動）回路の構築方法を記載すること。  (2)連動回路が停止した場合の運転・制御のバックアップ方法を記載すること。  (3)現場での監視・操作における機器構成を記載すること。  (4)VVVF装置を使用する場合は、高調波対策の要否と具体的な対策を記載すること。  ５　計装設備  (1)監視、運転、制御に必要な測定項目及び測定方式（機器仕様）を全て記載すること。  ６　監視制御設備  (1)監視、計装制御等を含めた監視制御システム構成を記載すること。  (2)監視制御システムの信頼性向上対策（監視装置台数、コントローラ仕様・台数等）への考え方を記載すること。  (3)監視装置での操作・監視・設定項目の選定方法を記載すること。  (4)既存の監視や計装信号と信号授受する項目について、必要信号の内容、理由及び信号の取り合い方法を記載すること。  ７　配線・配管  (1)容量、大きさ、ルートの設定根拠を記載すること。  ８　その他  (1)今回施工する接地種別を記載すること。  (2)停電時に設備を安全に停止させるための対策（機器構成、停止条件等）への考え方を記載すること。 | | |
| ※A4版4ページ以内（図表を含む） | 応募者番号 |  |

#### （様式３０－１０）　土木・建築・建築設備計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | | |
| 下記項目について詳しく記載すること。  １　施設設計  (1)計画地盤高、及びその設定根拠を記載すること。  (2)諸室のゾーニング計画及び各諸室の使用用途を記載すること。  (3)各室のスペース根拠を記載すること。  (4)階高の設定根拠を記載すること。  (5)耐水化対策の内容を記載すること。  (6)本施設への進入路（通用口位置、歩道乗入れ部）の整備内容を記載すること。  (7)場内整備の位置・内容を記載すること。  ①場内舗装：道路幅、舗装範囲、舗装構成  ②汚水管・雨水管（側溝）：接続先、及び配管ルート  (8)基礎形式（杭基礎の場合、杭材・杭径・杭長・本数等）を記載すること。  ２　施設建設  (1)既設構造物との離隔および近接施工が生じる場合の施工方法等を記載すること。  (2)周辺環境対策（掘削土砂の場内仮置き時における飛散防止対策、騒音・振動対策等）への考え方を記載すること。  ３　建築機械設備  (1)各建屋における建築機械設備に係る設計方針及び配慮すべき事項について具体的に記述すること。  ４　建築電気設備  (1)各建屋における建築電気設備に係る設計方針及び配慮すべき事項について具体的に記述すること。 | | |
| ※A4版4ページ以内（図表を含む） | 応募者番号 |  |

#### （様式３０－１１）　ユーティリティ使用量および排水水質

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | | |
| 下記のユーティリティ使用量と汚水排水量および排水水質を、提案値欄に記載すること。  １　電力使用量   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 種別 | 要求水準値 | 提案値 | | 電力 | 1,265kW以下 | デマンド：●●Kw  使用量：●●●kWh/日 |   ２　上水使用量   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 種別 | | 要求水準値 | 提案値 | | 上水 | 1日使用水量 | 1.12m3/日以下 | ●●m3/日 | | 瞬時最大予想水量 | 0.15m3/min以下 | ●●m3/min |   ３　二次処理水使用量   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 種別 | | 要求水準値 | 提案値 | | 二　次  処理水 | 1日使用水量 | 2,923m3/日以下 | ●●m3/日 | | 瞬時最大予想水量 | 2.5m3/min以下 | ●●m3/min |   ４　本施設からの汚水排水量および排水水質（返流水）  　（汚水排水量）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 種別 | | 要求水準値 | 提案値 | | 汚　水  排水量 | 1日使用水量 | 2,960m3/日以下 | ●●m3/日 | | 瞬時最大予想水量 | 2.2m3/min以下 | ●●m3/min |   （排水水質）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 項目 | 要求水準値 | 提案値 | 備考 | | BOD | 20mg/L以下 | ●●mg/L以下 |  | | SS | 40mg/L以下 | ●●mg/L以下 |  | | COD | 30mg/L以下 | ●●mg/L以下 |  | | T-N | 60mg/L以下 | ●●mg/L以下 |  | | T-P | 0.3mg/L以下 | ●●mg/L以下 |  | | pH | 5.8～8.6 | ●●～●● |  | | | |
| ※A4版1ページ以内（図表を含む） | 応募者番号 |  |

#### （様式３０－１２）　公害防止に係る法規制

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | | |
| １　公害防止基準について提案値を記載すること。尚、本提案に関連する他の書類などがある場合は、該当様式の通し番号を明記して添付すること。  (1) 騒音規制基準  騒音規制基準   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 時間区分 | | 規制値 | 提案値 | | 朝 | 午前6時から午前8時まで | 60 dB | ●●dB | | 昼間 | 午前8時から午後6時まで | 65 dB | ●●dB | | 夕 | 午後6時から午後10時まで | 65 dB | ●●dB | | 夜間 | 午後10時から翌日の午前6時まで | 55 dB | ●●dB |   (2) 振動規制基準  振動規制基準   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 時間区分 | | 規制値 | 提案値 | | 昼間 | 午前8時から午後7時まで | 65 dB | ●●dB | | 夜間 | 午後7時から翌日の午前8時まで | 60 dB | ●●dB |   (3) 悪臭規制基準  臭気指数規制基準  本施設外壁から5ｍの位置(4か所)および脱臭装置排気口、換気口、脱臭設備出口など建屋からの排出口、汚泥をトラック搬送する場合のトラックから5mの位置の最も濃度の高い箇所の値を記載すること。  　　　　　　最も濃度の高い箇所   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 特定悪臭物質 | 規制値 | 提案値 | | アンモニア | 1 ppm | ●● ppm | | メチルメルカプタン | 0.002 ppm | ●● ppm | | 硫化水素 | 0.02 ppm | ●● ppm | | 硫化メチル | 0.01 ppm | ●● ppm | | 二硫化メチル | 0.009 ppm | ●● ppm | | トリメチルアミン | 0.005 ppm | ●● ppm | | | |
| ※A4版1ページ以内（図表を含む） | 応募者番号 |  |

#### （様式３０－１３）　維持管理・運営の体制

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | | |
| １　維持管理体制  本事業の維持管理・運営期間を通じた平常時の平日・休日・日中・夜間の維持管理体制について、下表の維持管理体制表を記載するとともに、その体制構築の考え方を施設稼働初期の考え方および夜間管理の考え方を含めて、具体的に記載すること。なお、下表は適宜追加・変更しても構わない。  　平日日中（時間帯●:●●～●:●●）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 職種 | 担当業務・内容 | 資格 | 人数 | |  |  |  |  | |  |  |  |  |   　平日夜間（時間帯●:●●～●:●●）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 職種 | 担当業務・内容 | 資格 | 人数 | |  |  |  |  | |  |  |  |  |   　休日日中（時間帯●:●●～●:●●）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 職種 | 担当業務・内容 | 資格 | 人数 | |  |  |  |  | |  |  |  |  |   　休日夜間（時間帯●:●●～●:●●）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 職種 | 担当業務・内容 | 資格 | 人数 | |  |  |  |  | |  |  |  |  |   ２　緊急時の体制  自然災害発生時、故障時、停電時、緊急異常時を考慮した危機管理計画について、これら事象が発生した場合の非常配備の班体制について、配備基準と体制構築理由を具体的に記載すること。 | | |
| ※A4版3ページ以内（図表を含む。添付資料は含まない。） | 応募者番号 |  |

#### （様式３０－１４）　肥料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | | |
| １　肥料の性状  肥料の性状を下記の表に記載すること。   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 項　目 | 提案値 | 項　目 | 提案値 | | 肥料の種類 |  | 窒素含有率 | ●●％ | | 窒素全量 | ●●％ | 炭素窒素比 | ●●％ | | りん酸全量 | ●●％ | 銅全量 | ●●mg/kg | | 加里全量 | ●●％ | 亜鉛全量 | ●●mg/kg | | 有機炭素 | ●●％ | 石灰全量 | ●●％ |   ２　肥料製造量  肥料の年次別製造量を下記の表に記載すること。   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 年次 | 肥料製造量 | 年次 | 肥料製造量 | | 1年目（R8年度） | ○○t/年 | 11年目（R18年度） | ○○t/年 | | 2年目（R9年度） | ○○t/年 | 12年目（R19年度） | ○○t/年 | | 3年目（R10年度） | ○○t/年 | 13年目（R20年度） | ○○t/年 | | 4年目（R11年度） | ○○t/年 | 14年目（R21年度） | ○○t/年 | | 5年目（R12年度） | ○○t/年 | 15年目（R22年度） | ○○t/年 | | 6年目（R13年度） | ○○t/年 | 16年目（R23年度） | ○○t/年 | | 7年目（R14年度） | ○○t/年 | 17年目（R24年度） | ○○t/年 | | 8年目（R15年度） | ○○t/年 | 18年目（R25年度） | ○○t/年 | | 9年目（R16年度） | ○○t/年 | 19年目（R26年度） | ○○t/年 | | 10年目（R17年度） | ○○t/年 | 20年目（R27年度） | ○○t/年 |   ３　肥料の有効利用方法  肥料の有効利用方法を下記の表に記載すること。なお、下表は適宜追加・変更しても構わない。   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 有効利用先 | 受入れ期間  （○年○月～○年○月） | 受入れ量  （○t／日相当） | 常時受入れ又は  臨時受入れ | 有効利用の  方法 | |  |  |  | 常時・臨時 |  | |  |  |  | 常時・臨時 |  | |  |  |  | 常時・臨時 |  | |  |  |  | 常時・臨時 |  | |  |  |  | 常時・臨時 |  |   ４　肥料貯蔵・運搬時の安全衛生対策  (1) 肥料の貯蔵・運搬時の対応として、貯蔵時の臭気漏洩対策、搬送車両の臭気漏洩対策の内容、搬送先及び搬送経路の周辺環境に配慮した積載方法や運搬方法について記載すること。 | | |
| ※A4版4ページ以内（図表を含む） | 応募者番号 |  |

#### （様式３０－１５）　セルフモニタリング

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | | |
| 本事業について、要求水準書の遵守事項及び事業者の提案事項が確実に履行されていることを確認するための事業者によるセルフモニタリングに関し、実施内容・体制、県への報告内容等について、以下の観点を踏まえて記述すること。  ①セルフモニタリングの内容  ②セルフモニタリングの実施時期、頻度  ③セルフモニタリングの実施体制、内部チェック体制  ④県への報告時期、頻度、報告内容 | | |
| ※A4版4ページ以内（図表を含む） | 応募者番号 |  |